山形村ボランティアセンターの日頃の活動をご紹介します！

山形村ボランティアセンター通信

令和８年６月発行

■山形村ボランティアセンターとは？

「ボランティアをしてみたいな」「今活動しているけれど、相談したいことがある」「ボランティアさんの協力を求めている」という個人・団体・組織の皆さまへ向けた多様な支援を行っています。住民の皆さまがボランティア活動への理解と関心を深められるよう、その育成援助と必要な連絡調整を行うことを目的としています。

■有償在宅福祉サービス「たのみま処」

「ちょっとしたお手伝いがあれば安心して山形村で生活できる方（依頼会員）」と、「地域のために空いた時間でちょっとしたお手伝いをしてくださる方（協力会員）」がそれぞれ会員となり、地域の温かい支え合い・助け合いを形にするサポート事業です。

【活動実績】

活動月	依頼会員	依頼内容	協力会員	活動回数
４月	３名	ゴミ捨て	３名	５回
５月	４名	ゴミ捨て・お話し相手	４名	６回

募集中！

現在、草取り・草刈りを対応してくださる協力会員を募集しています！

■イベント報告

☆**社協活動周知運動「子ども向けレク用具体験会」**（参加者：21 名）

5 月 16 日（土）下大池公民館にて、山形村ボランティアセンター貸出備品の中からレク用具（ラダーゲッター・ペタンク・輪投げ）の体験会を実施しました。レク備品は地域住民同士の交流や健康を目的にしたイベントにてご活用していただけます。

☆**スマイルみどりん**　（4/25 参加者：　33 名　5/23 参加者：62 名　※　両日スタッフ・ボランティア含む）

4 月 25 日（土）と 5 月 23 日（土）「山形村みどりと環境を守る会」をはじめとする複数の団体との共同事業として、『スマイルみどりん』を開催しました。毎年 4 月～11 月頃にかけて、山形村役場南側にあるスマイル農園にて野菜の植え付けや収穫体験などを実施しています。

野菜・花の種や苗植え

おはなしの会・スマイル食育
よみきかせ・食育のおはなし

裏面では地域で活動する団体さんの活動を紹介しています！ぜひご覧ください。👉

【問い合わせ先】
社会福祉法人　山形村社会福祉協議会
山形村ボランティアセンター
住所　：　山形村 4520-1　　TEL　：　97-2102

山形村防災かわら版

～地域の防災力向上をめざして、防災に強い地域をつくる～

■ トピックス：山形村に防災士会発足～共に守る、地域の未来～

山形村の防災・減災力をより確かなものにするため、2025 年 12 月 15 日、「山形村防災士会」が設立されました。

「自助」「共助」「協働」の精神を基本理念に掲げ、災害に強い安全な地域づくりを目指して活動しています。

活動の 4 本柱

1. 知識・技術の向上： 会員の防災・減災に関する専門知識や技術を磨きます。
2. 実践活動： 地域での研修会や訓練など、現場に即した活動を行います。
3. ネットワーク構築： 村内外の防災関連組織・団体との連携を深めます。
4. 情報発信： 防災に役立つ情報や活動内容を広く発信します。

【絶賛会員募集中！】現在、一緒に活動する仲間を募っています。山形村在住、または村内に勤務・在学している防災士資格保持者はもちろん、資格がなくても「地域の防災・減災に興味がある」「役に立ちたい」という熱意のある方ならどなたでも大歓迎です。私たちと一緒に、大切な人を守る活動を始めませんか？

【最新情報はこちら】Facebook で「山形村防災士会」と検索して、フォローをお願いします！

【お知らせ】5 月 9 日に開催した「山形村防災体験会」の様子は、社協広報誌「まほろば第 113 号」に掲載されます。ぜひ併せてご覧ください。

■ お役立ち！防災トリビア：クイズで学ぶ！地震の後の正しい行動

【第 1 問】地震で停電した後、避難するときはブレーカーを落としたほうがよい？

・正解：〇

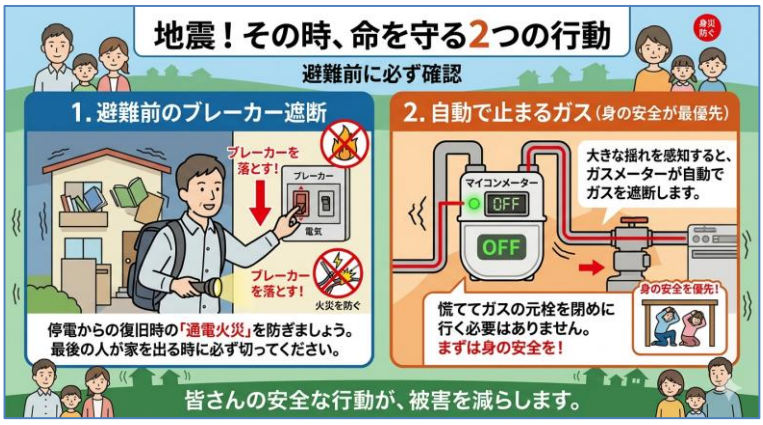
・解説：避難する前にブレーカーを落とすのは、**「通電火災」を防ぐため**です。電気が復旧した瞬間に、倒れた電気ストーブが再過熱したり、傷ついたコードから火花が散って火災になります。過去の大地震でも、**火災の原因の過半数が電気によるもの**でした。避難で家を空けるときは必ずブレーカーを落としましょう。

不在時やパニックでブレーカーを落とせないときに備え、一定の揺れを感知すると自動で電気を遮断してくれる**「感震ブレーカー」**を設置しておくとさらに安心です。

【第 2 問】激しい揺れがきたら、何よりも真っ先に台所のガスコンロの火を消しに行くべき？

・正解：×

・解説：今は無理に火を消しに行く必要はありません。現代のガスメーター（マイコンメーター）は、震度 5 度以上の揺れを感知すると**自動でガスを遮断**します。激しい揺れの中で動くと、転倒や落下物で大けがをする危険があります。まずは**「身の安全（頭を守る）」が最優先**です。火は揺れが収まってから落ち着いて消せば間に合います。



■ 山形村防災士会の主な活動報告（4月～6月）

4/4　長野県社協による災害ボランティアセン ター研修
4/10-12　能登半島被災地(珠洲市)へのボランティア活動
4/15　山形小学校避難訓練見学
4/26　公民館講座「山形村の地質環境を知っ て減災を実現しよう」
4/29　日本防災士会長野県支部総会

5/9　山形村防災体験会開催
5/29　応急手当普及員再講習
6/2　県社協主催 DWAT チーム員基礎研修
6/4　山形村総務課防災担当「山形村地域防災計画」概要研修
6/9　県社協主催 DSAT 基礎研修

文責・編集：山形村防災士会